

令和2年度 ちょうふのぞみ保育園 事業報告書

【施設運営状況】

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、新年度早々に緊急事態宣言が発令され、1ヶ月半ほど臨時休園となった。新入園児の慣らし保育やテレワーク推奨により家庭での保育協力も多く、段階的な利用で通年とは違った落ち着いたスタートとなった。

コロナによる不安や苛立ちがあるなか、子どもたちが安心して保育園に通えるように、そして感染対策を行いながら安全な保育をしていけるよう心掛けた。行事は縮小や中止となり、年長クラスの保護者としては状況が状況だけに納得しつつも思いや考えなどを漏らすことなどもあった。保育園としては出来る限りの対応として行事を動画撮影し、保護者の方に閲覧してもらうなどの対応を行った。

幸いにも園児や職員からはコロナ陽性者は出ず、運営することができた。

個々の発達において生活状況や多少の遅れを感じるお子さんも数名おり、発達支援、子育て支援センターと連絡を取り合い子どもにとっての最善の支援を取り組めるよう努力した。(要保護児童は4月4名だったが3月3名となり、うち1名は次年度の4月で終了となる。)

【職員の状況】

職名	令和元年4月1日の職員数				年間退任・就任								令和3年4月1日の職員数 (常勤換算は3月分)								
	正 規 職 員	有期契約職員			計	正規職員		有期契約職員				計	正 規 職 員	有期契約職員			実 人 員 合 計	常 勤 換 算			
		契 約 職 員	非 常 勤 A	非 常 勤 B		就 任	退 任	契約職員		非常勤A				非常勤B		契 約 職 員			非 常 勤 A	非 常 勤 B	常 勤 換 算
								就 任	退 任	就 任	退 任			就 任	退 任						
園長	1				1														1		
主任	1				1														1		
保育士	6				6	5	2						7	10					10		
看護師	1				1									1					1		
栄養士	1				1									1					1		
調理員	2				2									2					2		
調理補助	0				0									0					0		
保育補助		3	2	3	8				1				1	0	2	1	3		6		
事務員	1				1									1					1		
嘱託医	1				1									1					1		
計	14	3	2	3	22	5	2	0	1	0	0	0	0	8	18	2	1	3	24		

* 臨時職員の内、非常勤Aは正規職員の所定労働時間と同じ労働時間で雇い入れられた時間給職員、非常勤Bは正規職員の所定労働時間より短い労働時間で雇い入れられた時間給職員です。

・状況に応じた職員体制や保育内容で子どもたちが安心して楽しく毎日をご過ごせる環境づくりを心がけてきた。

出来る限り、合同保育は行わず、ギリギリまでクラス別での活動を行い、感染対策を行った。

・園外活動は園庭状況に応じて多くなるため、年齢に合わせた公園等で保育を実施している。コロナにより公園での活動の際、他園の人数によっては、行き先を変更することや遊具を使用した後は一度除菌シートで手を拭き、帰園後は手洗いをしっかりと行うなど対応を行った。

・保護者対応は丁寧に行うことを常に意識し、日々の様子や成長を伝え、信頼関係を築くことを目指しました。必要なケースは専門機関と連携を図り、対応した。

【施設整備状況】

・幼児クラスの食事は飛沫感染防止の為、パーテーションを作成し、設置した。

非接触型体温計を使用し、預かり前の検温を徹底した。

【利用者状況推移】(各年度4月1日現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
令和2年度	9	11	18	16	17	15	86
令和3年度	7	13	16	16	15	17	84

【主なできごと】

年間行事予定 別途添付

【その他について】

安全管理

○ 防災訓練⇒毎月1回 避難訓練、消火訓練を実施した。

○ 健康管理⇒嘱託医による園児の健診、職員の定期診断及び職員の細菌検査を毎月実施した。

健康管理には最善の注意を払い、感染症については早急にお知らせを出した。

○ 衛生管理 おもちゃの消毒や室内の清掃、感染症の流行時には消毒を徹底した。

階段の手すりや玄関のドアのアルコール消毒。保育園に入る際は大人(職員も含め)マスク着用と手指のアルコール消毒(園児も含む)をお願いした。

○ 安全管理 毎月1回チェックシートを活用して確認を行った。

地域交流

・新型コロナウイルス感染症により地域交流は行うことが出来なかった。

事業苦情内容及び結果の公表

件数	主な苦情内容	対応及び解決方法
2	<p>○子どもへの関わり方について</p> <p>○保護者及び子どもの声がうるさい</p>	<p>○2歳児クラスの担任が子どもに対し、「出来ない」という言葉を言っているという事で「子どもが保育園に行きたくない」と調布市より匿名での連絡があったと連絡が入った。</p> <p>調布市保育課より「保育アドバイザーに相談してみてください」とのことで相談し、担任へアドバイザーからの意見を伝えた。また、職員会議で職員全体にも周知を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「肯定的な言葉がけを行うようにしていく」 ・「職員間で意識をし、注意をし合えるようにしていく。リーダーが率先して職員間に働きかける環境にしてい <p>く」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「保育士が行っている事のねらい、思いを情報発信していく」 <p>○稲田歯科クリニックより、入電。クリニックの隣の駐車場でちょうふのぞみ保育園の保護者と子どもらしき家庭が3家庭1時間ほど話をしていた。ただ、保育園の保護者かどうかはわからないとのこと。</p> <p>定期的な見回り、園内での注意喚起、同様な事があった場合は園に連絡をして頂けるようクリニックに依頼を行った。</p>